

(別表1)

事業継続力強化支援計画

事業継続力強化支援事業の目標

I 現状

(1) 地域の災害リスク

(風水害：稲美町総合防災マップ)

稲美町のハザードマップによると、町の西部を流れる曇川が氾濫した場合 1m～2mの浸水が想定されているほか、曇川と国安川が交差する付近において氾濫時同規模の浸水が想定されている。町の南部を流れる喜瀬川が氾濫した場合も 1m～2mの浸水が広い範囲で想定されている。また、稲美町内には 88カ所のため池が大小いたるところに存在し、その中でも兵庫県下最大で町の北部に位置する加古大池が決壊した場合周辺地域で 1m～2mの浸水が想定されている。

商工業者へのリスクとしては、店舗・工場・倉庫への浸水や工場機械等の故障などによる復旧の長期化、復旧費用の高額化などが想定される。町内の主要産業である製造業においては、原材料の加工業者が被災することにより、産業全体のサプライチェーンが毀損するリスクも存在している。

(土砂災害)

稲美町内には山が無いいため兵庫県のCGハザードマップにおいても災害の範囲は標記されていない。

(地震：稲美町総合防災マップ)

稲美町総合防災マップによると、町の中心より南東部に位置する草谷地区に山崎断層（草谷断層）が存在し、予想される被害は、最大震度 7、建物の全壊及び焼失は 5,677 棟となっている。

また、今後 30 年以内に 80%の確立で発生すると予想されている南海トラフ地震の場合、稲美町では最大震度 6 弱が予想され、建物全壊・焼失は 230 棟とされている。

商工業者へのリスクとしては、建物倒壊・損壊や、地震によるため池の決壊で洪水・浸水被害という複合災害リスクが存在している。

(感染症：稲美町地域防災計画、サイバー攻撃等)

新型インフルエンザ等（感染症）は、10 年から 40 年の周期で出現し、世界的に大きな流行を繰り返している。新型インフルエンザ等の感染症の流行時には、従業員の感染・休業、顧客の行動自粛による売上減少、サプライチェーン寸断などにより、商工業者の事業継続が困難となるリスクが存在している。

また、当市の主要産業である製造業では、サイバー攻撃による情報の漏洩や精密機器の故障等のリスクへの対策が急務となっている。

(2) 商工業者の状況

令和 3 年経済センサス

商工業者数 1,036

小規模事業者数 791 社

業種分類	商工業者数 (内小規模事業者)	業種分類
製造業	262 者 (220 者)	町内に広く分布している。
建設業	143 者 (130 者)	町内に広く分布している。
卸・小売業	497 者 (394 者)	町内に広く分布している。

サービス業	134 者 (47 者)	町内に広く分布している。
-------	-----------------	--------------

(3) これまでの取組

1) 当町の取組み

- ・稲美町総合防災マップの作成・全住民に配布（令和3年4月）
- ・稲美町地域防災計画の修正。（令和7年3月）
- ・総合防災訓練の実施。（令和5年度まで）
- ・避難所開設訓練の実施（令和6年度以降）
- ・天満南小学区での防災訓練の実施。（平成29年度以降）
- ・防災に関する出前講座。
- ・防災備品の備蓄。

役場防災倉庫、避難所（小中学校等）に非常時の食糧品を17,500食、毛布8,100枚、トイレ処理袋10,000枚等の備品を分散備蓄。

2) 当会の取組み

- ・兵庫県共済協同組合等と連携し、「火災共済」や「休業対応応援共済」（休業補償共済）等の加入促進。
- ・損保ジャパン日本興亜㈱、東京海上日動火災保険㈱、と連携した損害保険への加入促進。
- ・事業者に対するBCP策定セミナーの開催。
- ・事業者に対するBCP計画策定支援。
- ・外部団体等が主催するサイバーセキュリティセミナーに関する情報の周知。

3) 事業継続力強化支援計画の実施状況

- ・兵庫県共済協同組合等と連携し、「火災共済」や「休業対応応援共済」（休業補償共済）等の加入促進。  
令和3～6年度の火災共済の新規加入件数 21件
- ・事業継続力強化に関するセミナー 1回（9社9名参加）

II 本計画の策定及び実行にあたっての課題と対策

【課題】

- ①町内の小規模事業者の事業継続力強化計画の取組状況を把握できていない。
- ②平時、緊急時の対策を推進するノウハウを持った人員が不足している。
- ③保険、共済に対して、助言等を行える当会経営指導員が不足している。

【対策】

- ①年1回のアンケート調査及び巡回指導時の聞き取りにより状況把握を行い、稲美町と情報共有を図ることで、支援の重点化と計画的な推進を図る。
- ②兵庫県商工会連合会に登録されている専門家との連携による支援体制の補完、職員研修の充実、防災訓練への参画などにより、職員の実践的な対応力を強化する。
- ③経営指導員の研修受講を促進し、兵庫県共済協同組合や但陽信用金庫、中小機構等の各支援機関との連携強化、専門家派遣の活用等により、事業継続に必要なリスクファイナンス助言体制を整備する。

### III 目標

- ・地区内小規模事業者に対して災害リスクを認識させ、事前対策の必要性を周知する。
- ・町内において小規模事業者の多くを占めている卸・小売業が多く集積する「国岡」地区を中心とした町中心部の小規模事業者を面的に支援し、サプライチェーンや地域経済の機能を維持することで、町内全体の小規模事業者の事業継続力強化につなげる。
- ・支援においては、事業者BCPの策定支援に加え、被災時の事業継続力強化に係る取組として、損害保険の加入などリスクファイナンスの取組を促進する。

具体的には、以下の目標を設定し取り組んでいくこととする。

- ①年8者に対して事業継続力強化計画の策定・見直し支援を行う。
- ②町内全体の事業継続力強化計画の策定率を10%
- ③主要産業である製造業の小規模事業者においては策定率を15%
- ④小規模事業者の多くを占めている卸・小売業の小規模事業者においては策定率を20%
- ⑤損害保険加入の取組周知を約600者（会員企業）に対して行う。
- ⑥上記目標達成のため、年1回（セミナー）を開催する。

#### ◇成果目標

商工業者数	小規模事業者数	事業年度	BCP セミナー	策定目標	
				BCP	事業継続力 強化計画
1036名	791名	R8	1回	4	12
		R9	1回	8	12
		R10	1回	8	12
		R11	1回	8	12
		R12	1回	8	12

前回の事業継続力強化支援計画策定後にBCPを策定している小規模事業者数を把握していないため、1年目は調査と普及啓発活動を中心とした事業を行う。従って初年度のBCP策定目標は経営指導員を含む職員数4名に対し4件、2年目以降リスクの高い事業所を重点的に支援し、一人あたり2件、目標値を8件とする。事業継続力強化計画はBCP策定より簡易であるため経営指導員を含む職員数4名に対しそれぞれ3件の目標を掲げ年間12件を目標とする。

## 事業継続力強化支援事業の内容及び実施期間

(1) 事業継続力強化支援事業の実施期間（令和8年4月1日～令和13年3月31日）

(2) 事業継続力強化支援事業の内容

1) 町内小規模事業者の事業継続力強化計画の取組状況の把握

- ・経済産業省、自治体等と連携し町内小規模事業者における事業継続力強化計画の策定状況等の事業継続力強化の取組状況を把握する。
- ・伴走型補助金等を活用し、町内小規模事業者の事業継続力強化の取組状況を調査・把握する。

2) 小規模事業者に対する事業継続力強化支援の内容

- ・巡回経営指導時に、ハザードマップ等を用いながら、事業所立地場所の自然災害等のリスク及びその影響を軽減するための取組や対策（事業休業への備え、水災補償等の損害保険・共済加入、行政の支援策の活用等）について説明する。
- ・会報等（年4回）での周知やホームページにおいて、国の施策の紹介や、リスク対策の必要性、損害保険等の概要、事業者BCPに積極的に取り組む小規模事業者の紹介等を行う。
- ・町の広報誌による事業継続力強化計画策定の情報発信を行う。
- ・事業継続の取組に関する専門家を招き、小規模事業者に対する普及啓発セミナーを年1回開催し行政の施策の紹介、損害保険の紹介等を実施する。
- ・サイバー攻撃の対策については、兵庫県警と連携したサイバーセキュリティセミナーの開催や、会報・市広報、ホームページ等において、サイバー攻撃の脅威や対策の必要性を周知する。

(3) フォローアップ

- ・稲美町の防災訓練への参加を促す。
- ・事業継続力強化計画の見直しを促進するため、（一社）日本中小企業診断士協会連合会の実施する実効性向上支援事業を紹介する。（HP：<https://jigyokei-jikkoseikojo.jp/>）
- ・事業継続力強化計画の策定後3年が経過した事業者に対し、巡回経営指導時等に訓練（被災からのシュミレーション含む）・計画の見直しについての指導を行う。
- ・支援した事業者の計画期間を把握し、計画期間終了後の計画の再策定・再申請へつなげる指導を行う。

(4) 知見の共有及び事業継続力の底上げ

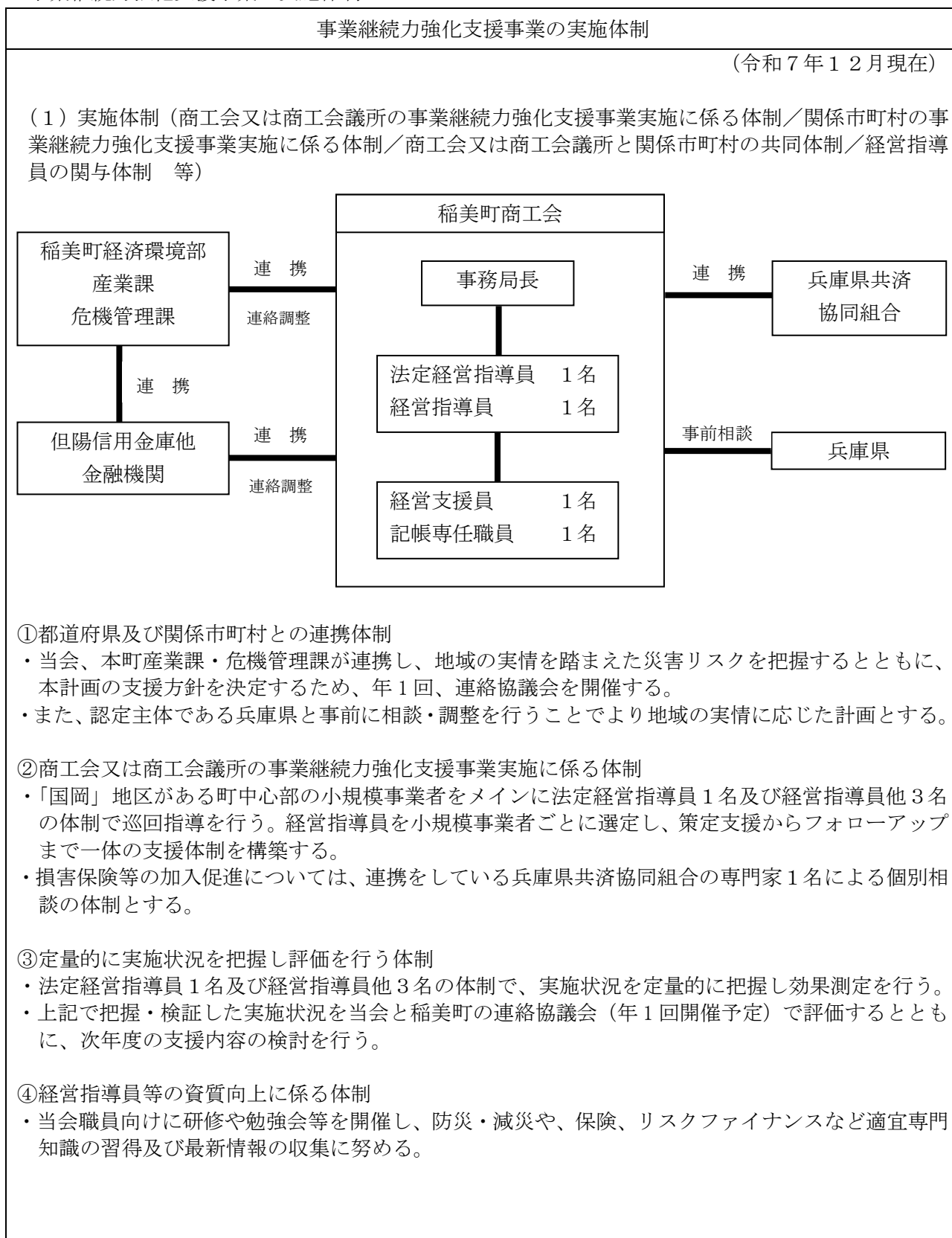
- ・商工会報等で域内の事業者の事業継続力強化に関する好事例を展開し、ノウハウを共有する。
- ・同じ地域や同じ業種など、関連する企業をマッチングし、連携型事業継続力強化計画の策定を支援する。

(5) 関係団体等との連携

- ・地域連携協定を締結している但陽信用金庫をはじめとする各金融機関とも連携を取り、普及啓発セミナーの開催や、損害保険に関して周知を依頼する。
- ・事業継続力強化計画等の策定支援にあたり、兵庫県商工会連合会や中小企業基盤整備機構地域本部の専門家派遣制度を活用する。
- ・関係機関への普及啓発ポスター掲示依頼、セミナー等の共催。

(別表2)

事業継続力強化支援事業の実施体制



(2) 商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律第5条第5項に規定する経営指導員による情報の提供及び助言に係る実施体制

①当該経営指導員の氏名、連絡先 中西 裕樹（連絡先は後述 (3) ①参照）

②当該経営指導員による情報の提供及び助言（手段、頻度 等）

※以下に関する必要な情報の提供及び助言等を行う

- ・本計画の具体的な取組の企画や実行
- ・本計画の取組実施における目標・指標の設定
- ・本計画に基づく進捗確認、見直し等フォローアップ（1年に1回以上）

(3) 商工会／関係市町村連絡先

①商工会／商工会議所

稲美町商工会

〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡 1-180

TEL：079-492-0200 / FAX：079-492-0557

E-mail：inami-tsci@inami.or.jp

②関係市町

稲美町経済環境部産業課

〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡 1-1

TEL：079-492-9141 / FAX：079-492-7792

E-mail：sangyo@town.hyogo-inami.lg.jp

稲美町経済環境部危機管理課

〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡 1-1

TEL：079-492-9168 / FAX：079-492-7792

E-mail：kikikanri@town.hyogo-inami.lg.jp

※その他 ・上記内容に変更が生じた場合は、速やかに県に報告する。

(別表3)

事業継続力強化支援事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

(単位 千円)

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
必要な資金の額	650	650	650	650	650
・ 専門家派遣費	250	250	250	250	250
・ セミナー開催費	200	200	200	200	200
・ ポスター作製費	200	200	200	200	200

(備考) 必要な資金の額については、見込み額を記載すること。

調達方法
兵庫県補助金、稲美町補助金、会費収入、手数料収入 等

(備考) 調達方法については、想定される調達方法を記載すること。

(別表4)

事業継続力強化支援計画を共同して作成する商工会又は商工会議所及び関係市町村以外の者を連携して事業継続力強化支援事業を実施する者とする場合の連携に関する事項

連携して事業を実施する者の氏名又は名称及び住所 並びに法人にあっては、その代表者の氏名	
①	兵庫県商工会連合会 会長 藤井 信孝 〒650-0013 兵庫県神戸市中央区花隈町 6-19
②	兵庫県共済協同組合 組合長 山村 栄二 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通 6 丁目 3-28 兵庫県中央労働センター4F
③	但陽信用金庫 理事長 桑田 純一郎 〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口 772
連携して実施する事業の内容	
①	小規模事業者が短時間で事業を再開できるような支援体制
②	災害リスクに応じた各種共済の推進
③	防災体制の整備及び災害時における対応に関すること
連携して事業を実施する者の役割	
①	兵庫県全体の商工会の状況を把握し、いち早く支援が必要な地域への応援体制づくり
②	災害リスクに応じた各種共済の提案
③	災害リスクの情報共有、災害時の連携
連携体制図等	
1 小規模事業者が短期間で事業を再開できるような支援体制	
<pre> graph TD     A[但陽信用金庫] -- "支援↑" --- B[稲美町商工会]     B -- "支援↑↓協力要請" --- C[小規模事業者]     </pre>	
②災害リスクに応じた各種共済の提案	
<pre> graph TD     A[但陽信用金庫] -- "案内・周知↑↓申込・受講" --- B[稲美町商工会]     B -- "各種共済、保険制度説明依頼" --- C[兵庫県共済協同組合]     C -- "協力↑↓セミナー開催依頼" --- B     </pre>	
③災害リスクの情報共有、発災時の連携	
<pre> graph TD     A[但陽信用金庫] -- "支援↑" --- B[稲美町商工会]     B -- "リスク情報共有" --- C[但陽信用金庫]     C -- "発災事業所情報共有" --- B     </pre>	